

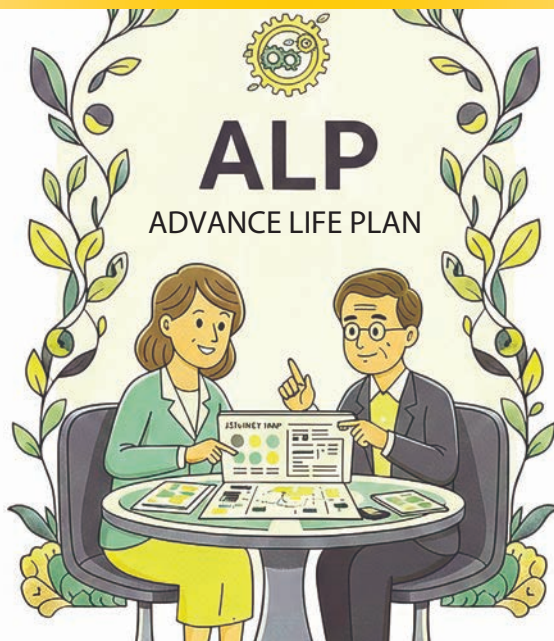
人生100年時代、今から始める ライフプランニング

～産学連携で描く人生のジャーニーマップ～

ALP
2026



アドバイスなし
Until NOW



アドバイス
ADVICE



アドバイスあり
From NOW

開催趣旨・テーマ

人生100年時代といわれる今、50～60歳台はいわば人生の折り返し地点。

これからの人生を「ワクワク・ドキドキ、楽しく」生きるために、今から「人生のジャーニーマップ」を描いてみませんか？

日本が高齢社会に突入して以来約30年が過ぎ、当時50歳・60歳台であった方は今や後期高齢者の仲間入り。

わが国には、その30年間のシニア層の生き方の貴重なデータが蓄積されております。

東京大学高齢社会総合研究機構では約900名の有識者・事業者への調査を通じ、シニア期の困りごとを解決する仕組みを研究してきました。その結果、選択肢が広い50～60歳台のうちに「備える」ことが、豊かさを実現する鍵となることが分かってきました。

本シンポジウムでは、理想の人生を実現するための「備え」と、それを支える専門技能、民間事業者の取り組みをご紹介します。

個人の方も、高齢者支援に携わっている企業の方も、私たちと一緒に未来をデザインしてみませんか？

開催

- 日時：2026年2月19日(木) [14時00分から16時30分まで]
開場13時30分
- 場所：伊藤謝恩ホール(収容人員400名) 東京大学本郷キャンパス 赤門隣接
オンラインでの参加も可能です。 <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/iirc/ja/access.html>
- 参加費：無料、どなたでも参加できます。
- 主催：東京大学高齢社会総合研究機構
- 協賛：公益財団法人トラスト未来フォーラム
一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会

第1部

備えとは？ それを支援する技能とは？

●開会の辞

飯島勝矢先生 東京大学未来ビジョン研究センター 教授
高齢社会総合研究機構 機構長

●ご来賓のご紹介

勝又賢人様 国土交通省住宅局住宅総合整備課長
吉田 慎 様 厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課長
川口英輔様 金融庁監督局総務課 課長補佐

●ご来賓ご挨拶

勝又賢人様 国土交通省住宅局住宅総合整備課長
吉田 慎 様 厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課長

●基調講演

新・住生活基本計画とALPの可能性
大月敏雄先生 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授
高齢社会総合研究機構 副機構長

●活動報告

ALP調査研究報告と今後の活動
・「備え」について分かったこと：人生のジャーニーマップ(KJM)とは
・高齢期の未来予想を支援するために必要な技能は何か
成瀬昂様、岡島正泰様
(SOMPOインステチュート・プラス上席研究員・上級研究員)
・今後の研究会の活動について
谷口佳充様(三井住友信託銀行信託開発部超高齢社会担当部長)

第2部

社会実装の事例紹介とALP (パネルディスカッション)

●テーマ

ジャーニーマップを支えるために企業にできること

ファシリテーター 神田昌幸様(大和ハウス工業まちづくり統括部執行役員)
パネラー 西木文明様(全国高齢者等終身サポート事業者協会理事)
加藤将貴様(ソニー生命営業統轄本部ゼネラルマネージャー)
谷口 明 様(城北信用金庫信託部部长)
大村篤史様(旭化成ホームズLONGLIFEコンサルティング室室長)
小川 誠 様(神奈川ロイヤル営業取締役部長)

●閉会の辞

樋口範雄先生 東京大学名誉教授
武蔵野大学法学部法律学科 特任教授

参加申込

参加申込 参加ご希望の方は次の登録フォームからお申込み下さい。

<https://forms.gle/A9MmyUvEy52f4JgVA>

会場準備の都合上、参加申込は2月16日(月)までをお願いします。会場の定員に達した場合は、以降の参加はオンライン参加にてご案内をさせていただきます。また、前日若しくは当日での直近の参加申込みにつきましては、オンライン参加URLのご案内が出来ない場合がございます。早めのお申込みをお願いします。



参加申込QRコード

問い合わせ先

本件に関する問い合わせは次のメールアドレスまでご連絡下さい。

折返し事務局よりお返事させていただきます。
gero-pro@iog.u-tokyo.ac.jp

ALP シンポジウム第2回事務局 田中、井上 宛